

2010年度FDプログラム 新任教員研修会

学部の枠を超えた議論の場に



グループワークの様子

ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会主催の2010年度新任教員研修会が、七月七日に二号館国際会議場で開催された。はじめに、FD委員長の矢島基美学

務担当副学長の挨拶があり、その後、文部科学省高等教育局企画官の榎本剛氏が「大学を取り巻く環境の変化と大学改革」と題した講演を行った。榎本氏は、資料をもとに高等教育のあり方や大学制度の創設について戦前まで遡って解説。国際的な大学教育の質の保障への取り組みについては、日本のほかアメリカ、イギリス、フランス、ドイツの事例と動向などを紹介した。また、大学で

のキャリア教育や情報公開など、最近の文部科学省の動向についても触れ、分かりやすく説明した。講演後は、学生の就職活動の早期化と教育の質の保証についての対策の必要性や、大学院教育の改善のための方策などについて質疑応答がなされ、有意義な意見交換の場となった。

その後、新任教員が六グループに分かれ、「授業改善への取り組み」と題したグループワークを行った。授業運営上の悩みや、理想とする教育方法などを共有し、互いにアイデアを出し合うなど、議論は大いに盛り上がった。参加者にとって、学部の枠を超えたネットワーキングの場となり非常に好評だった。

文教委)から石澤良昭学長に寄付金(百四十三万一千六百円)の目録が贈呈された。これは、銀祝準備委員会がオールソフィアの集いの祝賀パーティ会費とは別に創立百周年記念事業への寄付を募り実現したものである。

金祝・銀祝の卒業生から寄付 創立百周年記念事業へ

◇金祝(卒業後五十年) 去る五月三十日、オールソフィアの集いの際に行われた「金祝卒業生祝賀会」において、今回金祝を迎えられた方々を代表して、濱口吉右衛門氏(一九六〇年経済卒)か

◇銀祝(卒業後二十五年) 七月十五日、銀祝受章者を代表して、山崎富美雄氏(一九八五年外英卒)、片岡定一氏(同理工卒)、高橋喜代子氏(同

今回の寄付のように、個々の方々が団体を通じて大学に寄付をした場合、ご希望に応じて、上智学院から個々の寄付者宛に領収証を発行し、寄付金控除を受けることができます。詳細は募金室までお問合せください。



濱口氏から目録贈呈 石澤学長を囲む銀祝代表

最後に、全教職員を対象とする第三回FD講演担当副学長のジャンクロード・オロリッシュ外会を兼ねて、カトリック

創立百周年記念事業 マザー・テレサ写真展に100人 トークセッションも開催

マザー・テレサ生誕百年を記念する写真展が、六月十六日から二十六日まで、本学カトリックセンター、中央図書館一階および大学に隣接した聖イグナチオ教会ヨセフホールにて開催され、期間中延べ約千人が来場した。



トークセッションも行われた

今回の写真展では、マザー・テレサの身近で一年間過ごしたイエズス会の片柳弘史神父が撮影した写真を中心に約百点を展示。写真とともに、

国語学部教授が、「イエズス会の教育方針」と題した講演を行った。

「マザー・テレサのメッセージを受けて」と題したトークセッションも行われ、約四百人が参加した。トークセッションでは、ボランティア・ビューロー主任の増田祐志学生センター長(神学部准教授)の司会のもと、ウィリアム・カリー元学長とドメニコ・ウィタリ聖イグナチオ教会主任司祭が、マザー・テレサの生活や、奉仕活動への情熱の源がどこからきたのか、また、イエズス会との関わりなどについて思いを述べ、来場者は熱心に耳を傾けていた。

創立百周年記念 募金だより ③

宝台樹ヒュッテに現物寄付 群馬県水上町、宝台樹山の南面に位置する宝台樹ヒュッテは、ワンダーフォーゲル運動の啓蒙ならびに地元の人々との文化交流を目的として、一九六三年に聖母マリア像(写真上)およびワンダーフォーゲル部作成の旧宝台樹ヒュッテに関するパネルが



このたび、宝台樹ヒュッテの入口に木製の看板(写真上)、ヒュッテ内に山と自然をこよなく愛し、宝台樹ヒュッテの建設に仲間とともに尽力された。ご遺族から感謝の気持ちを形にしたいとの申し出があり、当時の仲間の協力により、今回の寄贈が実現した。なお、宝台樹ヒュッテ

海外からの訪問者

メキシコ・ITESO 大学



六月九日、メキシコにあるイエズス会系のITESO大学から、学生・教員十七人が本学を訪問した。ジャンクロード・オロリッシュ学術交流

創立百周年記念事業 病院コミュニケーション・ボランティア

管弦楽部有志が聖母病院で演奏

七月十六日に、創立百周年記念事業である「病院コミュニケーション・ボランティア」の一曲を演奏すると、会場では、

担当副学長が、大学の概要について説明を行い、日本語コースの内容や、国内での就職について質疑応答が行われた。

また、現在メキシコから本学に留学中の交換留学生も参加し、日本の生活を紹介したほか、国際交流ボランティア団体GLNetの学生によるキャンパスツアーも行われた。

管弦楽部有志による演奏

聖母病院等との総合

ローシャイタ ヴェンデリーノ名誉教授逝去

七月十日に慢性心不全のため死去。八十六歳。七月十二日に通夜、翌十三日に葬儀ミサならびに告別式が聖イグナチオ教会主聖堂で行われた。

募金受付状況 (2010年7月15日現在)

件数	金額(円)
ご父母(大学・短大)	3,731
卒業生(大学・短大・社専)	9,464
教職員	1,875
企業	270
団体(大学・短大・社専)	385
篤志家など(SJを含む)	126
合計	15,851
	2,075,529,868

注1)入金件数/金額を集計しています。
注2)分割払い、給与天引による寄付は、その都度、件数にカウントされています。

夏期休業のお知らせ

夏期休業のため、8月13日(金)から8月19日(木)まで事務組織の業務を休業します。休業期間中は、電話・FAX・ホームページからのお問い合わせに断ることができませんので、ご了承ください。緊急の場合は、正門守衛所 ☎03(3238)3000までご連絡ください。

課外活動団体による活動案内

日時	場所	備考
10/1日(金)18:00-10/2日(土)14:00-18:00 10/3日(日)11:00-14:00	上智大学1号館	(チケット) 前売り: 900円 当日: 1,000円 (HP) http://sophia-sm.d.hp.infoseek.co.jp/
10/9(土)-10(日) 開場16:30 開演17:00	日本青年館大ホール	(参加団体) 10/9: 琴曲部、アマテススコール、吹奏楽団ほか 10/10: フォークソング愛好会、グリーンクラブ、管弦学部ほか
9/22(水) 16:30~18:30 (予定)	上智大学2号館5階食堂(マルシェ)	※参加は本学学生に限ります。参加希望者は国際交流センターTEL03(3238)3521まで。

六月二十四日には、外務省の二十一世紀東アジア

管弦楽部有志が聖母病院で演奏

ローシャイタ ヴェンデリーノ名誉教授逝去



ローシャイタ ヴェンデリーノ名誉教授逝去

計報